

益田翔陽高等学校から小学生へ伝えたいこと(31.1.19)

益田翔陽高等学校総合学科福祉系列3年生4名が小学生12名・保護者3名に対して「介護ワークショップ」を高津公民館で開催しました。

計画・立案・準備・実施はすべて4人のみで行いました。願いは「優しい心・思いやりの心を持って新しい発見をしてほしい」ということ。

多くの小学生に、誤嚥を防ぐ「とろみ」の食体験と高齢者疑似体験を通して「困った人を見かけたら助けてあげたい」と思ってもらえたようである。

ワークショップのキーワードは温かい空気である。アイスブレイキングや主体的な行動への動機付けの工夫、声のトーンやリズム・テンポを考えたわかりやすい伝え。日々改善の毎日であったことと推察する。

後日、益田市社会教育課・高津公民館の職員の方から「思いやりがある」「主体的である」「コミュニケーション能力が高い」等、絶賛の声をいただいた。このような場を提供いただいたことに感謝。

今年度も地域の方々から多くの賞賛の言葉をいただいた本校生徒に「あっぱれ」の言葉を送りたい。

